

学習成果に関するレポート

フォーセット 望

今回の北京研修は、私にとって2度目の中国訪問でした。1度目は、去年大学の友達と一緒に旅行会社のツアーで4日間上海に行ったものです。多くの名所を観光しましたが、あっという間に4日経ってしまったのと同時に、現地の人とはほとんど関わる事ができなかったのを覚えています。

それに対して今回の北京研修では、さらに学習を進め語学力の向上をはかったと同時に、3週間の滞在期間の中で多くの人と接し、さまざまな中国語の発音を実際に耳にできただけでなく、北京での人々の生活をいくらか身近に感じ取ることができました。滞在中に授業中のみならず観光や買い物に行った全ての場所で生きた中国語を耳にしましたが、実際に現地の人々が話す中国語は話す速さがとても速く、また発音も授業中に聞いた中国語に比べると聞き取りづらく、はっきりわからない言葉もたくさんありました。しかしもちろんこれは彼らの話し方に問題があるわけではなく、私の中国語を聞きとる力がまだまだ足りなかったため、現地の人々と会話のキャッチボールをするためにはもっともっと勉強して、話す力はもちろん、聞く力もさらに向上させなければならないのだと改めて思われました。

その一方で、自分の知っている限られた中国語で、店の店員やタクシーの運転手といろんな会話をできたことは、単に嬉しかったのと同時に、自分の勉強してきたことが実際に形になって新しいつながりを生み出しているような気がして頼もしくもなりました。

中国の文化そのものについては、雑技や京劇など目に見えて触れたものも多くありましたが、3週間の北京生活の中で多くの人と接し多くの場所に行きまた多くのものを見たりした中で、見えないところで中国人・中国という国家そのものに触れ、自分の中にあった元のイメージや考えをより豊かなものに改められたのではないかな、と思います。

また、今までは自分の大学卒業後の未来の在り方をぼんやりとしか想像することができませんでした。今回の研修中に中国で実際に職につき活躍している自分の大学の先輩方にお会いすることができ、大変嬉しかっただけでなく、自分自身の将来について具体的に考えるきっかけになり、とても大きな影響を与えたように思います。

以上に述べたように、この3週間の研修の中で多くのことを発見し吸収することができましたが、3週間では知ったり感じたりできなかった部分も、中国にはまだまだたくさんあるのだらうと思います。研修に参加する前は自分の将来を留学はしないという方向で考えていましたが、今回の研修を経て現地でしか触れることのできない中国を自分で知るために、留学についてもう一度考えてみようと思いました。